

研究に関する情報公開文書

研究課題名：身体合併症での入院における認知症ケアの実態把握のためのケースシリーズ研究

患者様へ

当医局では、身体合併症（悪性腫瘍や肺炎など）で入院された認知症症状を有する患者様の診療情報を用いた研究を行っております。社会の高齢化に伴いアルツハイマー型認知症などの認知症を持ちつつ、身体疾患の検査・治療のため入院する患者様が増加しており、身体疾患治療のための入院中に高齢期に多いせん妄症状を伴う場合も少なくありません。このような認知症症状があることで、入院期間中に認知症症状が悪化したり、日常生活活動の能力が低下してしまう場合があり、病院での認知症ケアの向上が求められています。しかし、実際、どのぐらいの数、そのような患者様がおられるか、また、そのような状況によって入院期間が延びたり、日常生活活動能力がどの程度低下するかなど、まだ十分には解明されていません。そのため、本研究を行っています。

実際に行っている内容は、

- ・どのような身体疾患での入院が多かったか？
- ・認知症があることで入院期間が長期化していたか？
- ・認知症がある場合、身体合併症で入院する前に認知症の診断を受けていたか？

等に関連する項目の収集とその解析です。

これらは、診療上カルテに記録された既存情報を用いた解析となります。情報収集対象となる患者様は2016年4月1日以降、本研究の終了予定日である 2026年3月31日までの期間に、藤田医科大学病院に入院されたかたです。

なお、氏名、生年月日、住所など患者様の個人の特定に繋がる情報については一切研究の対象としておりませんので、患者様の個人情報の漏えいなど、患者様が不利益となるような事態が、この研究を通して起こることは、現時点では予想できません。また、これらの情報について外部機関に提供する予定はありません。

研究のより詳しい内容をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報保護やこの研究の独創性確保に支障がない範囲で、資料を閲覧していただくことが可能です。希望される場合は、担当研究者にお申し出下さい。この研究にご自身の診療情報が使用されるのを拒否したい患者様がおみえになりましたら、主治医もしくは以下までご連絡ください。何卒ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

なお、本研究は藤田医科大学倫理審査委員会から承認を得ております。また、本研究については講座研究費でまかない、特定の企業などと利益相反はございませんが、藤田医科大学利益相反委員会の審査・承認を受けています。